

令和6年度 道徳教育 全体計画

学校 番号	36	小諸商業 高等学校	定時制 課程	商業 科
----------	----	--------------	-----------	---------

学校教育目標	
本校の教育活動を通して、個人の尊重および多様性への理解を体得させるとともに、民主的かつ立憲的な国家社会の形成者たる資質を養う。そのために各専門教育により国民経済において有為な商業諸活動の担い手としての人材を育成することを目的とする。	
重点目標	
1	基本的な生活習慣の確立と挨拶や身だしなみ等の徹底。
2	「集団における個」を意識し自らの課題を発見する精神の定着、およびその課題に対する解決能力の模索を積極的に探求する精神を養う。
3	生徒が他者の人権や事情に対し理解と斟酌をし、生徒相互の人間トラブルが起こらないよう努める精神を養う。

道徳教育の重点目標	
1	心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに他者の人権を尊重する精神を育てる。
2	自主性・協調性・社会性を養い、公共にとってより良い環境を築こうとする資質の向上に努める。
3	身近な物事に対する責任感と、周囲への気遣いを意識できるような精神を養い、1、2重点目標の支柱となる基礎意識の育成に努める。

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科	
					国語	地理歴史
1年	基本的な生活の確立と、集団における規範意識を醸成し、周囲の人権・施行への理解を持ち、より良い人間関係の構築を目指す。	各専門教科の共同のもと、「信州学」の有用性を理解し、自身が生活する地域(小諸市)への理解を促進する。同時に地域の有する政策的・商業的課題の発見や、それを解決せんとする思考の定着を目的とする。	学級生活における集団行動や体験活動を通して、物事の多角的な見方を知っている。またその中で多様な社会への適応や「個」としての存在意義を模索する積極性それ自体の発達を促す。	自身の所属する集団の運営において自らの責務や能力を意識しそれ相応の成果を目指すことのできる生活を送れるようにする。その過程で豊かな人間関係を育む。	国語	文学作品を読むなかで登場人物の心理と行動を考えさせ、さらに現実生活のなかで他者を思いやり、尊重できる心を育む。
2年	集団生活における規範意識の定着を進める。学習活動に対する意欲と実際の学力の伸長、また豊かな継続的学校生活を送れるようにサポートをし、その中で自身の将来への展望へとつながる機会を設けられるよう指導する。	健全で規律ある生活を確立し、自己の在り方・生き方を探り、自身の興味関心について再考する。資格取得やアルバイトでの経験を通して、自らの就労についてリアルな計画性を持つようにする。	相手の立場で考える能力を身に付ける。同時に自身の行動や思考について冷静に振り返り、自己理解できる習慣を醸成する。	共通の興味関心を追求する活動を通して集団の活動がより良いものになるように努力する態度を育む。	地理歴史	人権の歴史と発展を理解し、社会の在り方や人間としての生き方について選択や判断する力を育む。
3年	自主性や協調性、責任感を養い、勤労等の喜びを体得させ、進路選択の能力を高め、社会の一員として必要な判断力や規範意識を身につける。	体験等を通して、課題解決能力を身につけ、進路を踏まえた勤労について考える。より高い水準の資格取得を推進する。	周囲の意見を大切に、さまざまな諸問題の解決を図ること、協調性や自主的な態度、自らを向上させようとする意識を育成する。	4年生と協力しながら、生徒会活動やクラスマッチの計画・実施を通じて集団を動かす力を涵養し実践力をつける。	公民	市民道徳と法規範的価値観から国内外の課題を解決しようとする態度を育む。
4年	自立して生きようとする力や自己教育力を育み、社会に貢献する意識や奉仕の精神に富んだ能力を高める。また本過程の最高学年として、下学年を先導する態度を養うこと。	従来の目標・志を立て、就きたい職業を考え、進路実現を目指す。目標、計画及び課題の明確化、資格取得(普通自動車免許含む)など。交通規範に則り、万が一の場合には社会通念的な対応	責任をもって行動し、調和のとれた集団づくりを目指し責任をもって行動する中で、自分の目標に向かって誠実に努力する。	リーダーとしての自覚のもと生徒会活動やクラスマッチの計画・実施を通じて集団を動かす力を涵養し行事の計画・立案と実践力をつける。	数学	事象を数学的・論理的に考察し、表現する能力を高めながら、道徳的判断の育成に資する。
					理科	さまざまな事象を科学的な思考力を働かせて分析し、論理的な判断ができるような力を育む。
					保健体育	ルールやマナーを尊重し、責任を果たそうとする態度を養う。健康の大切さを知り、自らの健康を適切に管理・改善する態度を養う。
					芸術	歌唱、器楽、鑑賞指導を通して感受性を高め、心豊かに生活が送れるような力を育てる。
					外国語	諸外国の文化に対する理解を深め、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
					家庭	生活に関する事象をあらゆる角度からみつめ、家庭や地域社会の一員としての自覚をもって自分の生き方を考える態度を育む。
					情報	商業「情報処理」で代替
					商業	ビジネス活動を主体的・合理的、かつ倫理観をもって行い、経済や地域社会の発展を図る能力と態度を育む。
					総合的な探究の時間	商業「課題研究」/公共「信州学」で代替

家庭・地域との連携	家庭と協力して基本的な生活習慣の確立や規範意識の醸成に努める。 地域の教育力を活用し、望ましい集団生活やより良い人間関係の構築、社会性の育成に努める。
-----------	--